



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 あいホールディングス株式会社
 コード番号 3076 URL <https://www.aiholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 佐々木 秀吉
 (氏名) 吉田 周二
 TEL 03-3249-6335

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の連結業績(2020年7月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	35,071	4.1	7,130	7.8	7,341	7.4	5,030	8.0
2020年6月期第3四半期	33,694	△14.9	6,616	1.1	6,833	3.5	4,657	△9.0

(注)包括利益 2021年6月期第3四半期 5,490百万円 (22.0%) 2020年6月期第3四半期 4,499百万円 (△11.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	106.23	—
2020年6月期第3四半期	98.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第3四半期	66,046	52,901	80.0	1,117.07
2020年6月期	60,977	49,530	81.1	1,045.88

(参考)自己資本 2021年6月期第3四半期 52,833百万円 2020年6月期 49,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	22.00	—	23.00	45.00
2021年6月期	—	22.00	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	—	—	23.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	7.7	9,100	19.8	9,300	17.2	5,900	27.7	124.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年5月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年6月期3Q	56,590,410 株	2020年6月期	56,590,410 株
2021年6月期3Q	9,233,020 株	2020年6月期	9,232,251 株
2021年6月期3Q	47,357,800 株	2020年6月期3Q	47,358,501 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により11の都府県に2回目の緊急事態宣言が出される中、個人消費は低迷し、アジア向け輸出の好調を背景とした設備投資に底打ち感がみられるものの、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は350億7千1百万円（前年同四半期比4.1%増）となり、営業利益は71億3千万円（前年同四半期比7.8%増）、経常利益は73億4千1百万円（前年同四半期比7.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億3千万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていたマンション管理組合の理事会・総会が徐々に開催されるようになり、営業活動が回復傾向となった結果、第2四半期連結会計期間以降は、前年同四半期比で売上高、セグメント利益ともにプラスで推移しております。しかしながら、当第1四半期連結会計期間において、前年第1四半期の消費税改定前の駆け込み需要という特需がなかったことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は97億9千万円（前年同四半期比1.2%減）、セグメント利益は40億9千1百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、カード機器の主要販売先である病院向け等における新型コロナウイルス感染症の影響、さらに前年第1四半期の消費税改定前の駆け込み需要、元号の改定という特需がなかったことにより、売上高は27億6千4百万円（前年同四半期比24.6%減）、セグメント利益は3億8千2百万円（前年同四半期比48.4%減）となりました。

③ 情報機器

情報機器につきましては、コンシューマ向け小型カッティングマシンの新製品の販売が海外市場を中心として引き続き好調であり、売上高は145億7百万円（前年同四半期比29.3%増）、セグメント利益は23億9千8百万円（前年同四半期比120.3%増）となりました。

④ 設計事業

設計事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による工事完成遅れ等により、売上高は33億7千2百万円（前年同四半期比9.9%減）、セグメント利益は1億4千1百万円（前年同四半期比60.9%減）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間から、「計測機器及び環境試験装置」について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。また、社内業績管理区分の見直しを行ったことに伴い、(株)アイフィク・(株)アレシシステム・(株)メディックの3社を「カード機器及びその他事務用機器」セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。詳細については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「Ⅱ 当第3四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更に関する情報」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて50億6千8百万円増加し、660億4千6百万円となりました。主な要因は、流動資産における現金及び預金36億4千6百万円増加、受取手形及び売掛金16億8千4百万円増加、商品及び製品5億7千4百万円減少等であり、その増減の理由としては、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益増加及び情報機器セグメントの販売好調による商品及び製品の売掛金への転換等が挙げられます。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて16億9千7百万円増加し、131億4千4百万円となりました。主な要因は、流動負債における支払手形及び買掛金13億2千8百万円増加であり、その増減の理由としては、情報機器セグメントにおける仕入債務の増加等があげられます。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて33億7千万円増加し、529億1百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益50億3千万円の計上、配当金21億3千1百万円の計上等であります。この結果、自己資本比率は80.0%と前連結会計年度末の81.1%から引き続き高水準を維持しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年8月18日付にて公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2021年5月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,507	29,154
受取手形及び売掛金	6,296	7,981
リース投資資産	763	693
商品及び製品	5,136	4,561
仕掛品	199	235
未成工事支出金	219	176
原材料及び貯蔵品	748	706
その他	1,501	1,724
貸倒引当金	△39	△45
流動資産合計	40,333	45,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,784	1,795
土地	6,052	6,052
その他(純額)	1,736	1,750
有形固定資産合計	9,573	9,599
無形固定資産		
のれん	2,196	2,136
その他	406	349
無形固定資産合計	2,603	2,486
投資その他の資産		
投資有価証券	1,927	1,954
関係会社株式	4,215	4,351
その他	2,410	2,552
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	8,467	8,772
固定資産合計	20,644	20,858
資産合計	60,977	66,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,792	4,120
リース債務	490	473
未払法人税等	782	635
賞与引当金	161	533
製品保証引当金	0	0
受注損失引当金	10	9
その他	2,490	2,780
流動負債合計	6,727	8,552
固定負債		
リース債務	1,090	956
退職給付に係る負債	1,369	1,380
その他	2,259	2,254
固定負債合計	4,719	4,591
負債合計	11,446	13,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,029	9,042
利益剰余金	40,729	43,629
自己株式	△4,703	△4,705
株主資本合計	50,055	52,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	237	290
為替換算調整勘定	△791	△399
退職給付に係る調整累計額	△28	△23
その他の包括利益累計額合計	△582	△133
非支配株主持分	57	68
純資産合計	49,530	52,901
負債純資産合計	60,977	66,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	33,694	35,071
売上原価	17,589	18,630
売上総利益	16,104	16,441
販売費及び一般管理費		
役員報酬	260	257
給料及び手当	2,981	2,943
賞与	455	427
賞与引当金繰入額	292	384
退職給付費用	159	166
その他	5,338	5,132
販売費及び一般管理費合計	9,488	9,310
営業利益	6,616	7,130
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	—	0
持分法による投資利益	182	115
為替差益	16	—
助成金収入	—	116
雑収入	30	27
営業外収益合計	239	271
営業外費用		
支払利息	3	5
為替差損	—	42
支払手数料	5	—
その他	12	13
営業外費用合計	22	61
経常利益	6,833	7,341
特別利益		
固定資産売却益	0	—
子会社株式売却益	32	1
子会社株式精算益	4	—
その他	0	—
特別利益合計	37	1
特別損失		
固定資産除却損	12	9
子会社株式売却損	—	68
関係会社株式売却損	55	—
事業構造改善費用	15	—
損害賠償金	10	—
災害による損失	10	23
その他	—	0
特別損失合計	104	101
税金等調整前四半期純利益	6,766	7,241
法人税、住民税及び事業税	2,070	2,258
法人税等調整額	28	△58
法人税等合計	2,099	2,199
四半期純利益	4,667	5,041
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,657	5,030

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	4,667	5,041
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	9
為替換算調整勘定	△108	404
退職給付に係る調整額	△71	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	31
その他の包括利益合計	△167	449
四半期包括利益	4,499	5,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,490	5,480
非支配株主に係る四半期包括利益	9	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

(1) 会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響について

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(2) 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他(注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリテ ィ機器	カード機器 及びその他 事務用機器	情報機器	設計事業	計			
売上高								
外部顧客へ の売上高	9,906	3,666	11,224	3,741	28,540	5,154	—	33,694
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	71	53	40	1	166	131	△298	—
計	9,978	3,720	11,264	3,742	28,706	5,286	△298	33,694
セグメント利 益	4,183	740	1,088	360	6,373	141	100	6,616

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供並びにソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額100百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益106百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他(注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機器 及びその他 事務用機器	情報機器	設計事業	計			
売上高								
外部顧客へ の売上高	9,790	2,764	14,507	3,372	30,434	4,636	—	35,071
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	62	41	24	1	130	95	△225	—
計	9,853	2,805	14,532	3,373	30,565	4,732	△225	35,071
セグメント利 益	4,091	382	2,398	141	7,013	5	111	7,130

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダー及び自動おしぼり製造機の製造・販売、保守サービスの提供並びにソフトウェアの開発・販売等を行っております。
2. セグメント利益の調整額111百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益108百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する情報

第1四半期連結会計期間から、「計測機器及び環境試験装置」について量的な重要性が乏しくなったため、報告セグメントから「その他」として記載する方法に変更しております。また、社内業績管理区分の見直しを行ったことに伴い、(株)アイフリンク・(株)アレスシステム・(株)メディックの3社を「カード機器及びその他事務用機器」セグメントから「その他」セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。